

◆ 九頭竜川水系 日野川ブロック河川整備計画の進捗点検個票（案）

第10回九頭竜川流域懇談会で説明する点検個票

点検票No. (資料ページ)	記 載 事 項		点 検 方 法	参 考 指 標	整備計画本文との対応		
	項 目	内 容			整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
No. 01 (P4~5)	5.1 河川工事の目的、 種類及び施行の場所など	(1) 日野川	日野川の河川整備 ・ 清水山区 福井市清水山町地先（約100m区間） ・ 村国工区 越前市村国地先（約350m区間） ・ 下平吹工区 越前市下平吹町地先（約400m区間）	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) =施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P15~16	P19~23
No. 02 (P6~7)		(2) 江端川	江端川の河川整備 ・ 福井市江端町地先~下河北町地先までの約2,600m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) [河川改修] =施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P15~16	P24~25
No. 03 (P8~9)		(3) 鞍谷川	鞍谷川の河川整備 ・ 鯖江市下河端町地先（浅水川合流点） ~越前市新堂町地先（服部川合流点）までの約5,000m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) =施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P15~16	P26~27
No. 04 (P10~11)		(4) 河和田川	河和田川の河川整備 ・ 鯖江市落井町地先（鞍谷川合流点） ~河和田町地先（天神川合流点）までの約4,200m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) =施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P15~16	P28~29
No. 05 (P12)		(5) 服部川	服部川の河川整備 ・ 越前市新堂地先（鞍谷川合流点） ~朽飯町地先（水間川合流点）までの約2,500m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) =施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P15~16	P30~31
No. 06 (P13~14)		(6) 天王川	天王川の河川整備 ・ 越前町市地先（市姫橋）~宝泉寺地先までの約2,000m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) =施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P15~16	P32~33
No. 07 (P15~18)		(7) 吉野瀬川・吉野瀬川放水路	吉野瀬川のダム整備 ・ （左岸）越前市広瀬町186字江岩谷地先 （右岸）越前市広瀬町183字木野境地先	① ダム整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	ダム整備進捗率(%) =施工済量(m ³)÷計画量(m ³)×100 付替道路整備進捗率(%) =施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P15~16	P34~39
			吉野瀬川・吉野瀬川放水路の河川整備 ・ 越前市家久地先~芝原1丁目地先の2,400m区間 ・ 鯖江市鳥井町地先（日野川合流点） ~下司町地先（下司橋）の630m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) =施工済延長(m)÷計画延長(m)×100		
No. 08 (P19)		(8) 鹿蒜川	鹿蒜川の河川整備 ・ 南越前町今庄地先（今庄橋）~南今庄地先までの約800m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) =施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P15~16	P40~41
No. 09 (P20~21)	(9) 狐川	狐川の河川整備 ・ 福井市角折町地先（日野川合流点） ~福井市花堂中2丁目地先までの約6,500m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) =施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P15~16	P42~43	

◆ 九頭竜川水系 日野川ブロック河川整備計画の進捗点検個票（案）

第10回九頭竜川流域懇談会で説明する点検個票

点検票No. (資料ページ)	記 載 事 項			点 検 方 法	参 考 指 標	整備計画本文との対応	
	項 目	内 容				整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項
No. 10 (P22~23)	5.2.2 河川の維持の種類及び 施工の場所	(1) 河川管理施設の維持管理	① 河川管理施設の巡視 ② 広野ダムおよび榎谷ダムの点検	実施状況の確認	—	P16	P44
No. 11 (P24)	5.2.2.1 洪水等による災害の 発生の防止又は軽減 に関する維持管理	(2) 河道の維持管理	① 堆積土砂の除去、樹木群の伐採 ② 橋梁や樋門等の新設・改築時の占用户への指導	実施状況の確認	—	P15	P44
No. 12 (P25~26)		(3) 防災機能の充実	① 流域内の雨量や河川水位情報の提供 ② 浸水想定区域図・洪水ハザードマップの作成	実施状況の確認	—	P15	P44
No. 13 (P27)	5.2.2.2 河川の適正な利用及び 流水の正常な機能の維持 に関する維持管理	(1) 水量の管理	① 日常的な水量の把握 ② 慣行水利権の許可水利権への移行 ③ 濁水対応	実施状況の確認	—	P16	P45
No. 14 (P28)		(2) 許可工作物の設置等への対応	④ 占用工作物の監督				
No. 15 (P29~32)	5.2.2.3 河川環境の整備と 保全に関する維持管理	(1) 水質の監視	① 水質に対する住民意識向上のための啓発活動・広報活動 ② 水質事故等の発生時の対応 ③ 水質監視	実施状況の確認	—	P16	P45
No. 16 (P33)		(2) 河川環境の保全	① 魚道の設置・改築 ＜天王川（上流部）での魚道整備事例＞	実施状況、調査結果の確認	—	P16	P46
No. 17 (P34)		(3) 河川空間の適切な利用	① オープンスペースとしての高水敷部の利用状況や 自然豊かな河川とのふれあい・体験学習の場としての利用等 ② 河川内の不法投棄を防ぐための対策	利用状況、実施状況の確認	—	P16	P46
No. 17 (P34)	5.3.1 地域住民との協働		① 住民参加による河川美化活動	実施状況の確認		P16	P47

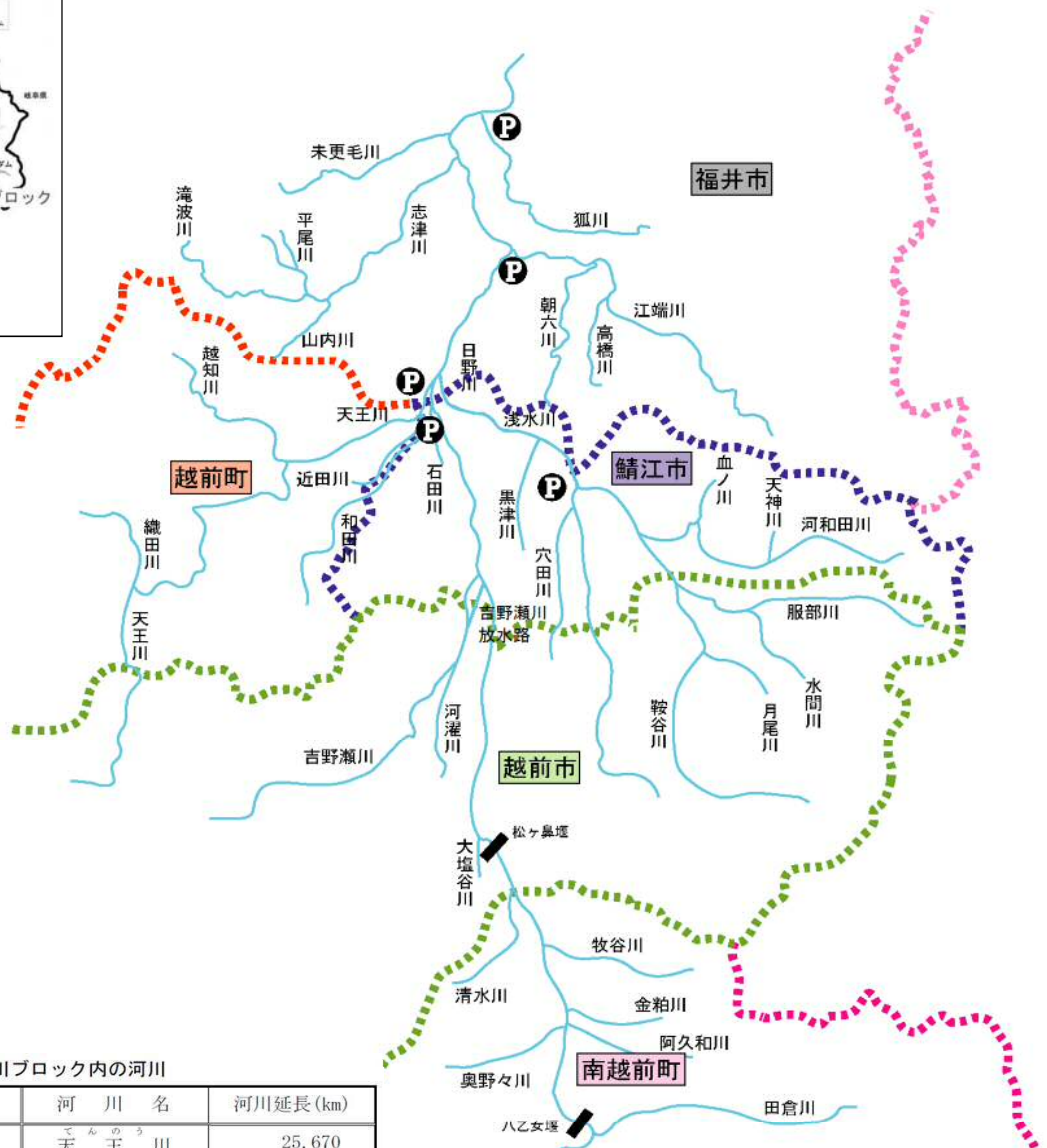


表 4.1 日野川ブロック内の河川

河川名	河川延長(km)	河川名	河川延長(km)
日野川 指定区間下流端 ～指定区間上流端	54.450	天王川	25.670
		和田川	9.600
		石田川	2.300
狐川	7.800	近田川	3.700
未更毛川	6.440	越知川	6.700
志津川	8.970	織田川	4.200
山内川	2.300	吉野瀬川	18.020
滝波川	5.000	吉野瀬川放水路	0.815
平尾川	1.300	河濯川	3.108
江端川	12.100	大塩谷川	1.400
朝六川	8.560	清水川	4.200
高橋川	3.250	牧谷川	4.900
浅水川	29.860	金粕川	2.520
黒津川	3.050	阿久和川	4.200
鞍谷川	18.940	奥野々川	4.000
河和田川	9.740	田倉川	10.250
血ノ川	1.870	鹿藪川	4.470
天神川	1.000	樹谷川	6.000
服部川	9.370	木之子谷川	2.300
水間川	4.610	念佛谷川	0.700
月尾川	3.240	岩谷川	1.500
穴田川	5.200	黒谷川	0.150
		赤谷川	0.350

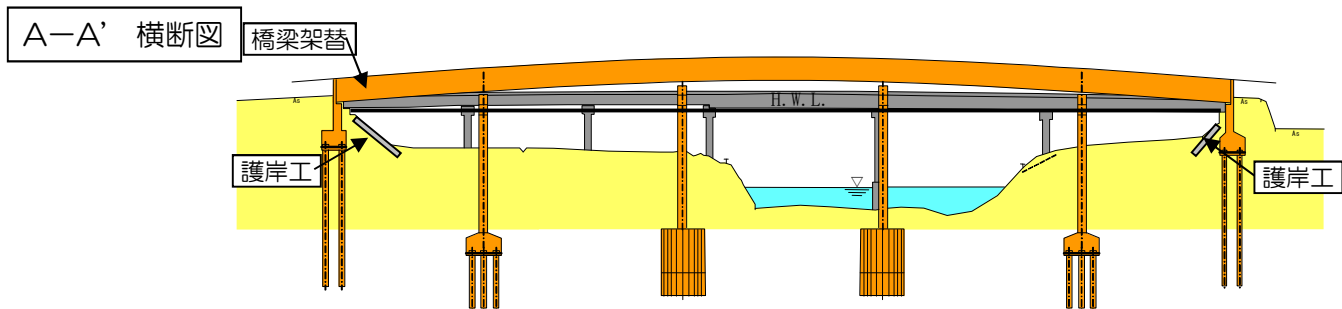
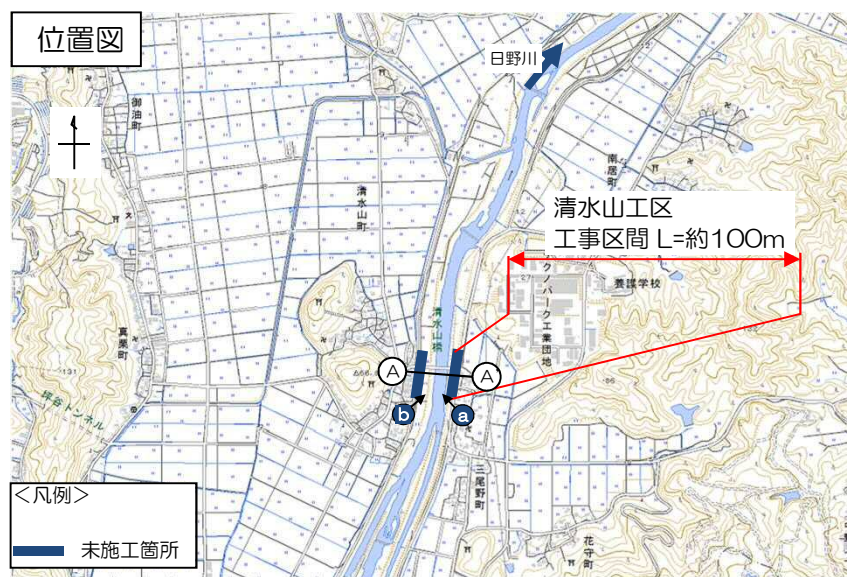
河川整備計画 進捗点検		No.01	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P15~16	P19~23	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (1) 日野川			
	内容	日野川の河川整備 ・ 清水山工区 福井市清水山町地先 (約100m区間) ・ 村国工区 越前市村国地先 (約350m区間) ・ 下平吹工区 越前市下平吹地先 (約400m区間)			
点検方法		① 河川整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

① 河川整備の進捗状況

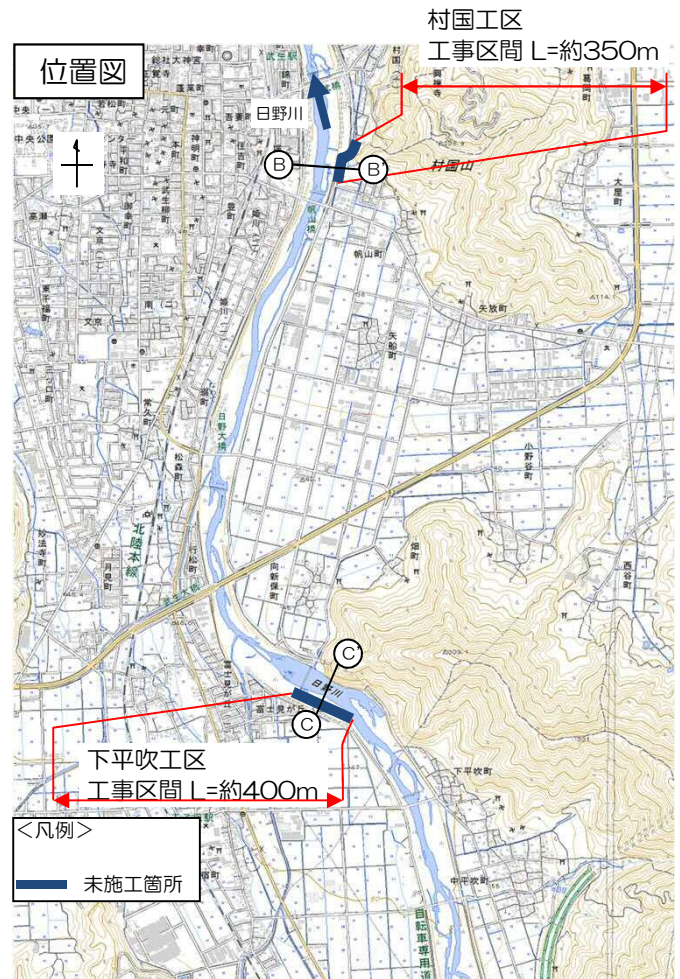
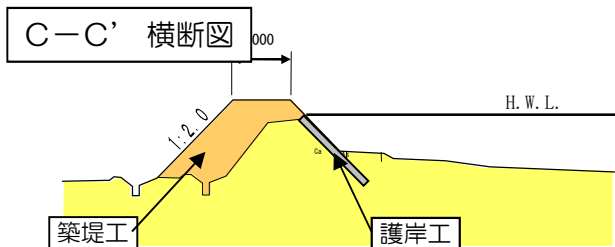
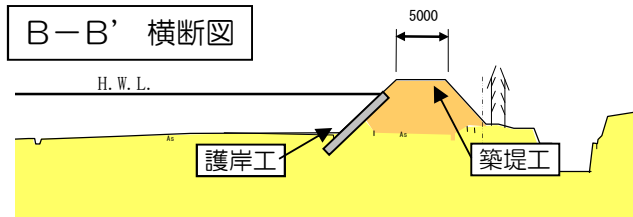
【工事期間】
未着手

【指標】
整備進捗率 (%)

- 清水山工区
= 0(m) ÷ 100(m) × 100
= 0 %
- 村国工区
= 0(m) ÷ 350(m) × 100
= 0 %
- 下平吹工区
= 0(m) ÷ 400(m) × 100
= 0 %



① 河川整備の進捗状況



② 整備時の配慮事項の確認

河川の掘削においては、高水敷の耕作地への影響に配慮するとともに、ヨシ等の植物が成育し、多様な生物の生息場となっている水際を復元するなど、現存する自然植生の再形成を目指します。

- 工事未着手（下流区間の改修進捗状況による）
- 河川整備にあたっては、多様な生物の生息場となっている水際を復元するなど、現存する自然植生の再形成を目指す。

点検結果の考察

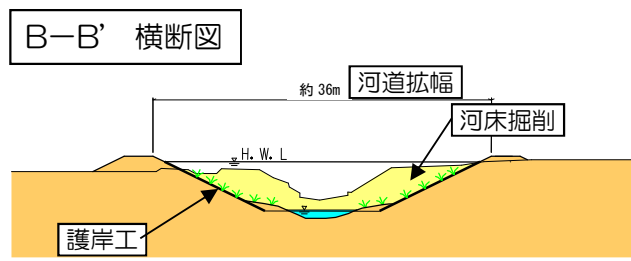
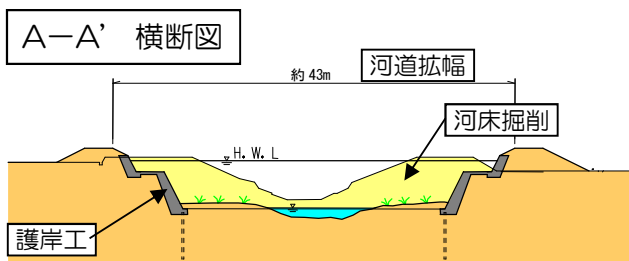
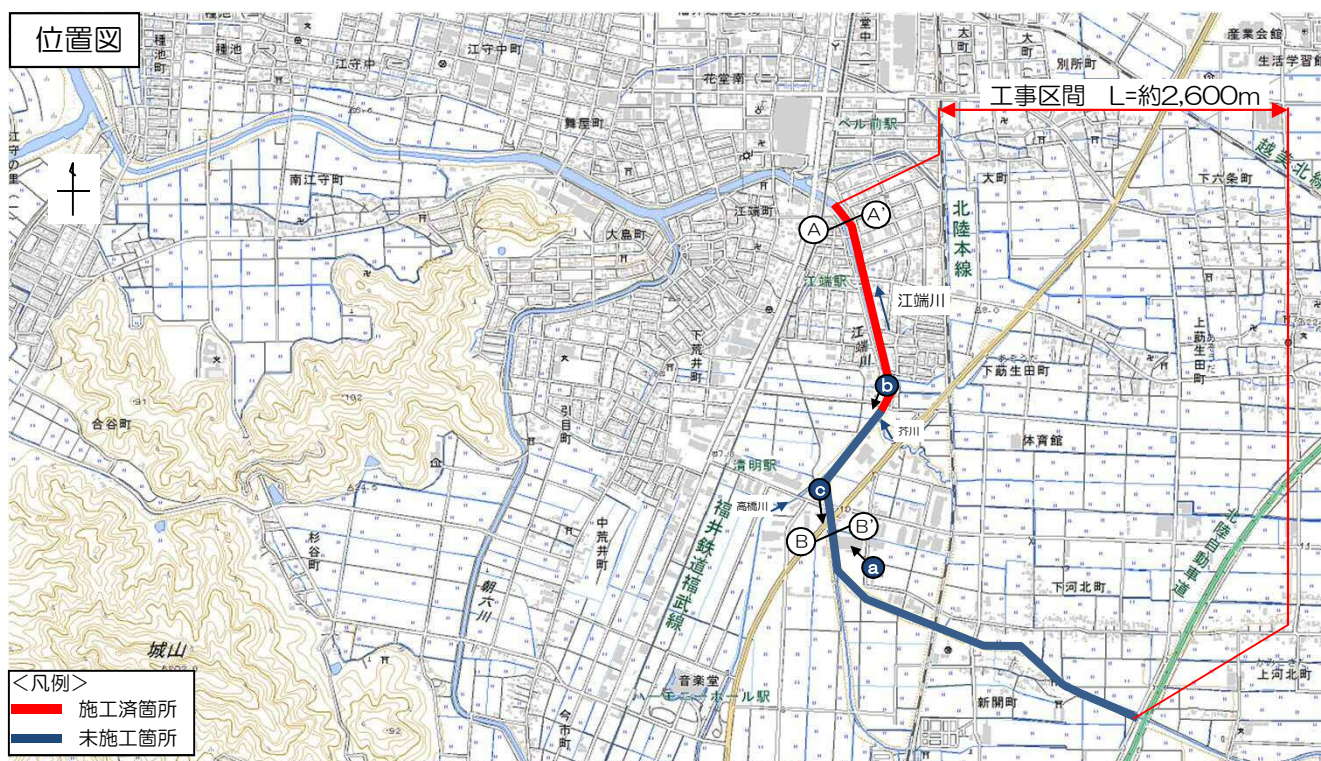
- 今後、下流区間の改修進捗状況および他河川の整備状況なども踏まえて、事業着手していく。

河川整備計画 進捗点検		No.02	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P15~16	P24~25	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (2) 江端川			
	内容	江端川の河川整備 ・ 福井市江端町地先～下河北町地先までの約2,600m区間			
点検方法		① 河川整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】
平成9年度～平成35年度

【指標】
整備進捗率 (%)
= 887(m) ÷ 2,600(m) × 100
= 34 %



② 整備時の配慮事項の確認

住宅密集地については、車や歩行者の通行など居住環境に極力影響を及ぼさないような工事工程、仮設工事を実施します。

- 平成9年度から工事区間の整備に着手しており、これまでに下流約900m区間の整備が完了している。
- 下流部の住宅密集地の工事に際しては、低騒音・低振動型の機械を用いるなど、周辺の住宅環境への影響に配慮した施工を実施している。

b 工事着手前



平成19年5月撮影

b 工事完成後



平成28年6月撮影

c 今後予定箇所



平成29年7月撮影

工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
福井市江端町 ～下河北町	██		
	H19 年度	H29 年度	H39 年度 H49 年度

点検結果の考察

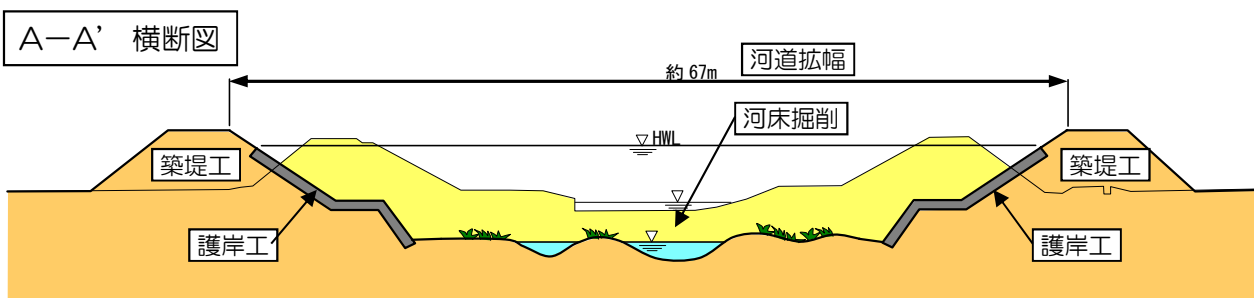
- 河川整備計画に基づき、引き続き事業進捗を図っていく。

河川整備計画 進捗点検		No.03	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P15~16	P26~27	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (3) 鞍谷川			
	内容	鞍谷川の河川整備 ・ 鯖江市下河端町地先（浅水川合流点） ～越前市新堂町地先（服部川合流点）までの約5,000m区間			
点検方法		① 河川整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】
平成16年度～平成28年度

【指標】
整備進捗率 (%)
= 5,000(m) ÷ 5,000(m) × 100
= 100 %



② 整備時の配慮事項の確認

平成16年7月の福井豪雨災害を受けたことから、早期に治水安全度を向上させます。

- 平成16年7月福井豪雨による被災後、早期に整備が進められ、計画に位置づけられた整備をすべて完了し、目標とする治水安全度の向上が図られた。



工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
鯖江市下河端町地先（浅水川合流点）	■		
～越前市新堂町地先（服部川合流点）			
	H19 年度	H28 年度	H39 年度
			H49 年度

点検結果の考察

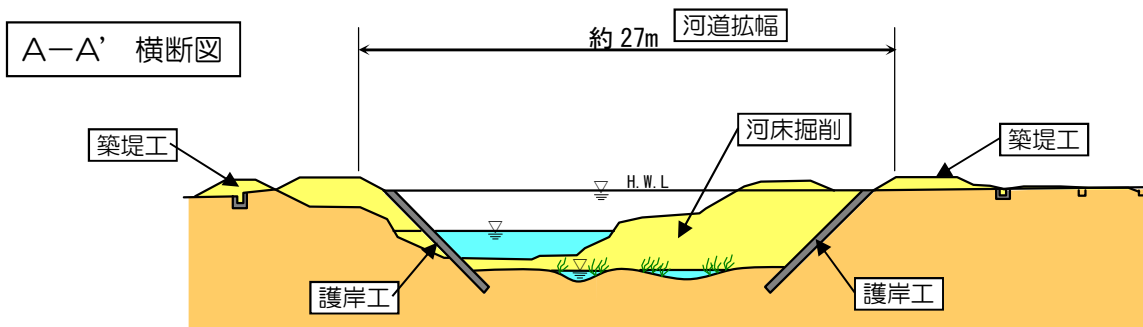
- 計画期間内に河川整備が完了した。

河川整備計画 進捗点検		No.04	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P15~16	P28~29	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (4) 河和田川			
	内容	河和田川の河川整備 ・ 鯖江市落井町地先（鞍谷川合流点） ～河和田町地先（天神川合流点）までの約4,200m区間			
点検方法		① 河川整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】
平成16年度～平成22年度
一部未着手

【指標】
整備進捗率 (%)
= 593(m) ÷ 4,200(m) × 100
= 14 %



② 整備時の配慮事項の確認

住宅密集地については、車や歩行者の通行など居住環境に極力影響を及ぼさないような工事工程、仮設工事を実施します。

- 平成16年7月福井豪雨による被災後、鞍谷川の河川改修（災害復旧助成事業）に合わせて下流区間（鞍谷川合流点から593m）について、早期に整備を進めた。
- 今後、住家連担地区については、地元住民等の理解を得ながら、河川整備を行っていく。



工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
鯖江市落井町地先（鞍谷川合流点） ～河和田町地先（天神川合流点）	■		
	H19 年度	H29 年度	H39 年度
			H49 年度

点検結果の考察

- 今後、他河川の整備状況なども踏まえて、事業着手していく。

河川整備計画 進捗点検		No.05	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P15~16	P30~31	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (5) 服部川			
	内容	服部川の河川整備 ・ 越前市新堂地先(鞍谷川合流) ～朽飯町地先(水間川合流点)までの約2,500m区間			
点検方法		① 河川整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】
未着手

【指標】
整備進捗率 (%)
= 0(m) ÷ 2,500(m) × 100
= 0 %

位置図
工事区間 L ≈ 2,500m
<凡例>
— 未施工箇所

a 越前市東庄境

平成29年8月撮影

a 越前市東庄境

平成30年1月撮影

A-A' 横断面図

② 整備時の配慮事項の確認

平成16年7月の福井豪雨災害を受けたことから、早期に治水安全度を向上させます。
住宅密集地については、車や歩行者の通行など居住環境に極力影響を及ぼさないような工事工程、仮設工事を実施します。

- ・ 工事未着手

点検結果の考察

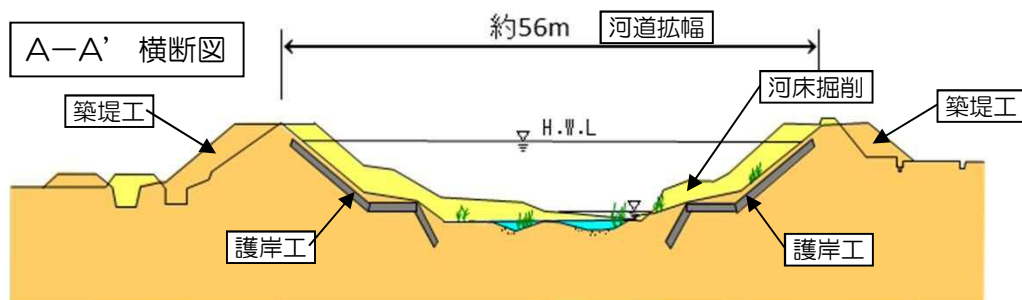
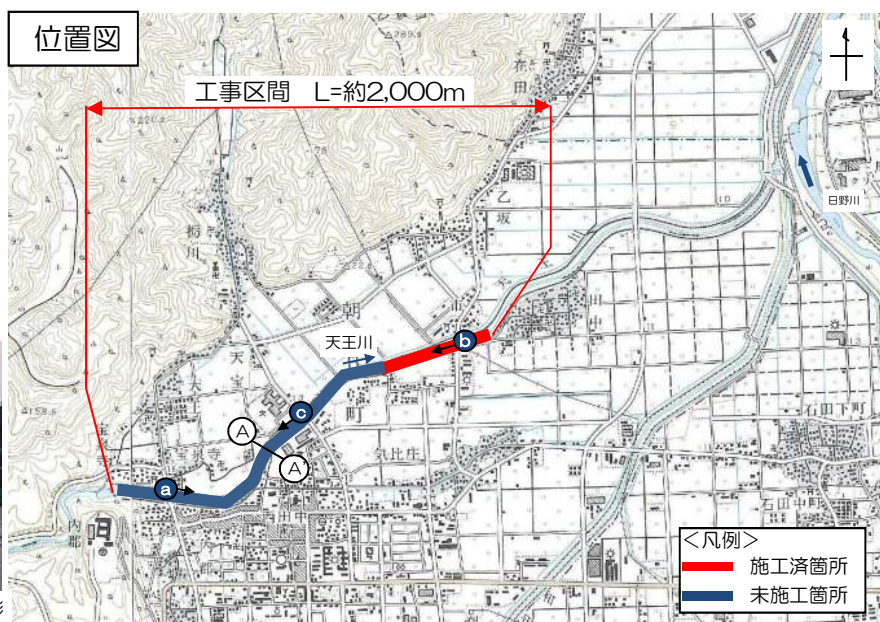
- ・ 今後、他河川の整備状況なども踏まえて、事業着手していく。

河川整備計画 進捗点検		No.06	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P15~16	P32~33	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (6) 天王川			
	内容	天王川の河川整備 ・ 越前町市地先(市姫橋)～宝泉寺地先までの約2,000m区間			
点検方法		① 河川整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】
平成15年度～平成35年度

【指標】
整備進捗率(%)
= 350(m) ÷ 2,000(m) × 100
= 18 %



② 整備時の配慮事項の確認

沿川に小中学校があることから、子供たちが河川環境について学習できる場として活用できるように護岸勾配を緩くするなど親水性を向上させます。

- 階段護岸などを整備することで、子供たちが河川環境について学習できる場として活用できるように、親水性の向上を図っていく。



親水護岸整備イメージ



水辺のふれあい区間イメージ

子供たちが水とふれあえる空間をつくれます

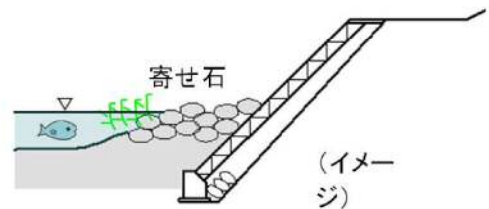
階段状ブロック
・水辺のアプローチと水遊び空間

生物の生息・生育区間イメージ

水辺から堤防まで、連続した生態系をつくれます

生態系保全
藻・水草等の植生復元による魚類等の育成

覆土
自然環境の復元



工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
越前町市地先（市姫橋） ～宝泉寺地先	[Red bar spanning from H19 to H35]		
	H19 年度	H29 年度	H35 年度
		H39 年度	H49 年度

点検結果の考察

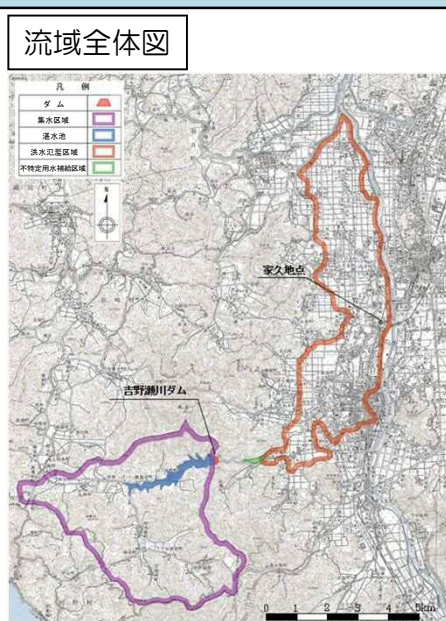
- 河川整備計画に基づき、引き続き事業進捗を図っていく。
- 階段護岸を整備し、環境学習の場とすることで、親水性の向上を図っていく。

河川整備計画 進捗点検	No.07	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
		河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
		P15~16	P34~39	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (7) 吉野瀬川		
	内容	吉野瀬川ダム整備 (左岸) 越前市広瀬町186字江岩谷地先 (右岸) 越前市広瀬町183字木野境地先		
点検方法		① ダム整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認		
参考指標		ダム整備進捗率(%) = 施工済量(m ³) ÷ 計画量(m ³) × 100 付替県道整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100		

① ダム整備の進捗状況

【工事期間】
平成3年度～平成37年度

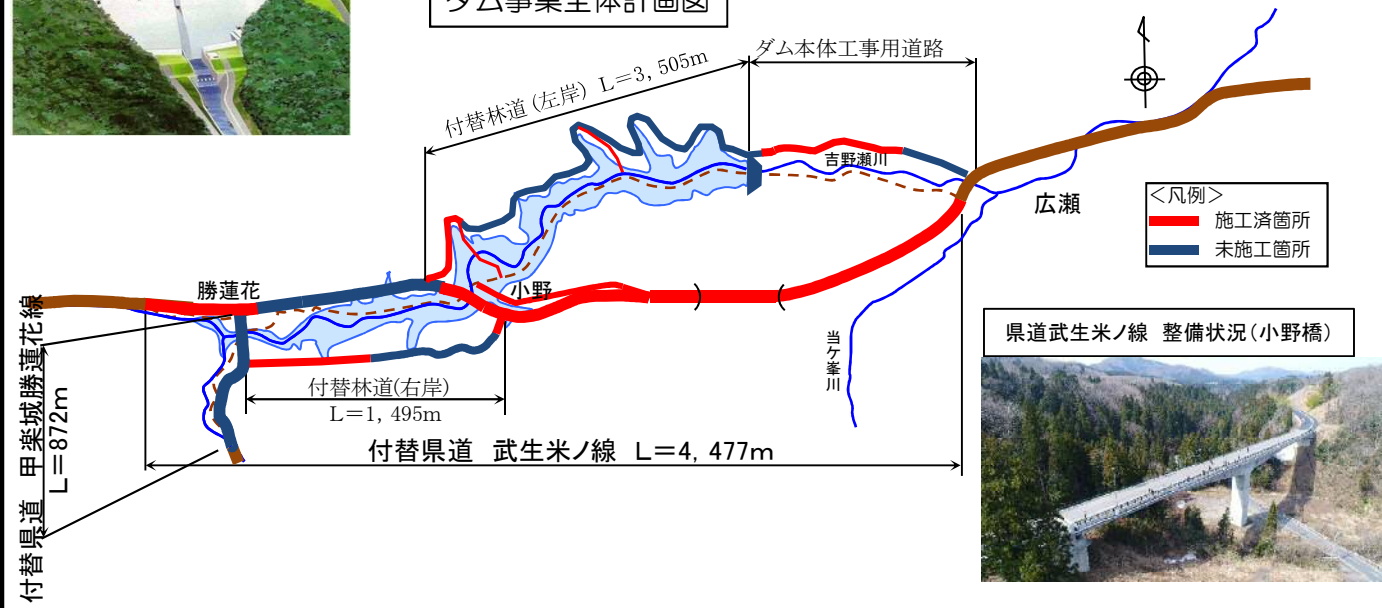
【指標】
ダム整備進捗率 (%)
= 0(m³) ÷ 131,500(m³) × 100
= 0 %
付替県道整備進捗率 (%)
= 4,457(m) ÷ 5,349(m) × 100
= 83 %



目的	洪水調節 流水の正常な機能の維持
計画規模	1/70 (暫定運用 1/30)
計画雨量	189mm (日雨量)
型式	重力式コンクリートダム
洪水調節方式	自然調節方式
堤高	58.0 m
堤頂長	184.0 m
堤体積	131,500 m ³
湛水面積	51 ha
総貯水量	7,800,000 m ³
治水容量	5,700,000 m ³
利水容量	1,100,000 m ³
堆砂容量	1,000,000 m ³



ダム事業全体計画図



- 平成29年度までは、付替道路工事、ダム本体工事用道路工事、ダム本体に係る調査・設計、環境調査、用地買収等を実施している。
- 付替県道武生米ノ線については、早期の全線供用開始に向けて工事を進めている。

② 整備時の配慮事項

ダムの建設にあたっては、魚類や植物さらに周辺の森林に生息する様々な動物の生息に配慮して、水質、騒音、振動など周辺環境への影響が極力少なくなるように配慮します。

また、ダム開発周辺地で発見されたアベサンショウウオについては、専門家の意見を参考にし、関係行政機関と調整のうえ、保護対策を講じます。

- 水質保全対策として河川の継続的な水質観測のほか、道路法面等の緑化を早期に実施することによる工事区域からの濁水流出防止に努めている。
- 騒音、振動対策として、工事で使用する建設機械に低騒音・低振動型を用いている。
- 事業による、両生類（アベサンショウウオ）、植生、猛禽類などの希少動植物への配慮として、検討会を継続して実施し、学識経験者からの指導助言を基に、生息や繁殖に影響が及ばないように必要な環境保全措置を実施し、工事を進めている。
- 主な保全措置として、新たな生息育成空間としてビオトープを整備し、アベサンショウウオやミズトンボ等の移植を実施している。また、継続してモニタリング調査を実施し、工事による影響や生息状況の把握を行っている。
- 移植後のアベサンショウウオ、ミズトンボ等についてモニタリング調査により移植先での生息が確認されている
- 今後、新たに希少種が確認された場合は、検討会及び学識経験者からの指導助言を受け、必要な保全措置を講ずることとしている。

道路法面の緑化状況



低騒音型機械の使用



ビオトープの整備



移植先で生息する両生類（アベサンショウウオ）



植生（ミズトンボ）の移植先生育状況



植生（エビネ）の移植先生育状況



工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
越前市広瀬町	[Red bar spanning from H19 to H39]		
	H19 年度	H29 年度	H39 年度

点検結果の考察

- 今後も環境に配慮しながら工事用道路や付替道路などの工事を実施するとともに、事業に必要な用地買収等を進め、早期のダム本体着工を目指し事業進捗を図る。

河川整備計画 進捗点検		No.07	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P15~16	P34~39	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (7) 吉野瀬川・吉野瀬川放水路			
	内容	吉野瀬川・吉野瀬川放水路の河川整備 <ul style="list-style-type: none"> 越前市家久地先～芝原1丁目地先の2,400m区間 鯖江市鳥井町地先(日野川合流点)～下司町地先(下司橋)の630m区間 			
点検方法		① 河川整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】
昭和57年度～平成40年度

【指標】
整備進捗率 (%)
= 1,020(m) ÷ 3,030(m) × 100
= 34 %

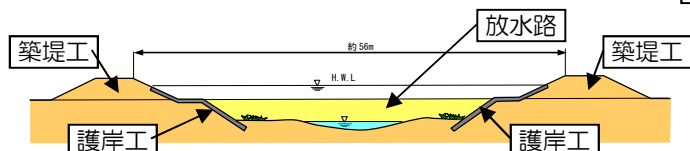
a 越前市家久町(放水路)



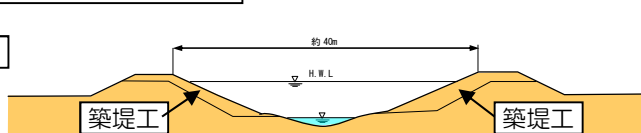
b 越前市家久町(放水路)



A-A' 横断面図



B-B' 横断面図



② 整備時の配慮事項の確認

放水路の建設にあたっては、道路事業、街路事業と連携をとり、改修工事を進めます。
背水対策工事にあたっては、堤防の植生の早期活着・復元を図ります。

- 沿川の家屋や公共施設等の浸水を防止するために放水路の運用が開始された（H29.11）ことにより、洪水時は吉野瀬川の現川ではなく放水路に流下するため、吉野瀬川下流域の治水安全度が向上された。
- また放水路の建設にあたっては、道路事業等と連携を図り、河川改修工事を進めた結果、越前市街地北部を東西南北に貫く一般県道福井鯖江線および一般県道石田家久停車場線の開通により交通の円滑化が図られている。

越前市家久町（通水・開通式 H29.11.12）



平成29年11月撮影

- 吉野瀬川放水路が洪水時や通常時に、日野川合流地点の河川環境（魚類、河床形態等）に対し、どのような影響があるか検証するため、学識経験者や漁業協同組合、行政等から構成する「吉野瀬川放水路環境保全委員会」を設置し、これまで3回開催した。
- 今後も放水路供用後における魚類や河床形態等の調査を行っていく。

第3回 吉野瀬川放水路環境保全委員会



平成29年3月撮影

工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
越前市家久町～芝原1丁目	—————		
鯖江市鳥井町～下司町		———	
	H19 年度	H29 年度	H39 年度
			H49 年度

点検結果の考察

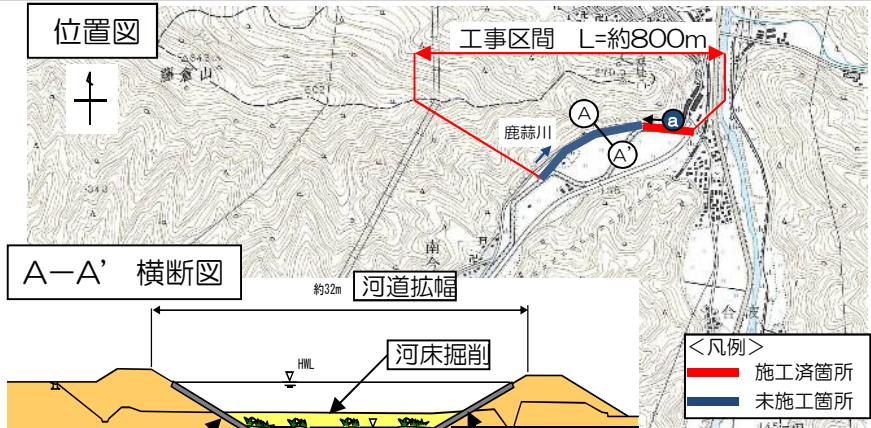
- 河川整備計画に基づき、引き続き事業進捗を図っていく。

河川整備計画 進捗点検		No.08	整備計画本文との対応 (ページ)		整備目標年
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			P15~16	P40~41	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (8) 鹿蒜川			
	内容	鹿蒜川の河川整備 ・ 南越前町今庄地先(今庄橋)～南今庄地先までの約800m区間			
点検方法		① 河川整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】
平成13年度～

【指標】
整備進捗率(%)
= 330(m) ÷ 800(m) × 100
= 41 %



位置図

工事区間 L=約800m

鹿蒜川

A-A' 横断面図

約32m 河道拡幅


河床掘削

護岸工

護岸工


<凡例>
■ 施工済箇所
■ 未施工箇所

a 工事着手前



平成13年7月撮影

a 工事完成后



平成22年3月撮影

② 整備時の配慮事項の確認

現況河道の平常時水深を確保して魚類等の生息環境を維持するため、低々水路を設けます。また、護岸については、覆土を施すなどの環境保全型の工法を採用し、植生の早期回復を図ります。落差工は、全面緩傾斜型とし、魚類および底生生物の生息環境に与える影響を抑えます。

- ・ 宅地開発行為に合わせ、湾曲部の河道付替え(捷水路)を下流の流下能力見合いにて改修した。
- ・ 護岸には覆土を施すなど環境保全型の工法を用い、落差工においては全面緩傾斜型として魚類や底生生物への影響に配慮するなど対策を実施している。

点検結果の考察

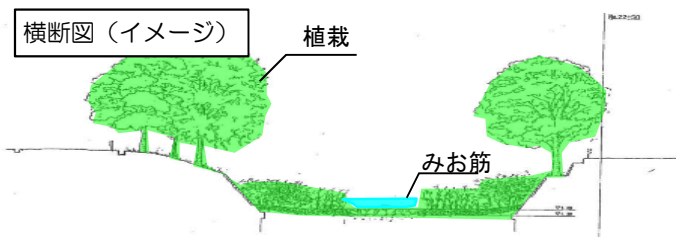
- ・ 今後、他河川の整備状況なども踏まえて、暫定改修区間の工事を着手していく。

河川整備計画 進捗点検		No.09	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P15~16	P42~43	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (9) 狐川			
	内容	狐川の河川整備 ・ 福井市角折町地先(日野川合流地点) ～福井市花堂中2丁目までの約6,500m区間			
点検方法		① 河川整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】
平成18年度～平成31年度

【指標】
整備進捗率 (%)
= 6,330(m) ÷ 6,500(m) × 100
= 97 %



② 整備時の配慮事項の確認

河川環境の整備については、住民、自治体、河川管理者などの関係者間の緊密な連携と協調、情報の共有により、協力関係を築き上げるとともに、住民主導型で計画の立案を進めます。

- 狐川における動植物の生息・生育環境を復元するとともに、子供たちが水辺に近づきやすく、水とふれあえる、「自然体験の場・環境学習の場」として整備を行うために、平成17年3月に「水辺の楽校プロジェクト」として登録を受け、地域住民・専門家・行政の協力により、環境整備を行ってきた。
- 沿川住民を対象とした整備計画の説明会や、工事中における現場見学会を実施した。
- 沿川の社西小学校の小学6年生を対象とした「川の環境授業」を実施し、狐川の自然再生事業の取り組みやその意義について紹介した。

整備計画の説明および意見交換会



平成29年3月撮影

地域の小学校を対象とした環境授業の実施



平成29年1月撮影

現場見学会の実施



平成28年11月撮影

工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
日野川合流点 ～福井市花堂中2丁目			
	H19 年度	H29 年度	H39 年度
			H49 年度

点検結果の考察

- 河川整備計画に基づき、引き続き事業進捗を図っていく。

河川整備計画 進捗点検	No.10	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P16	P44
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する維持管理 (1) 河川管理施設の維持管理	
	内容	① 河川管理施設の巡視 ② 広野ダムおよび柵谷ダムの点検	
点検方法		実施状況の確認	
参考指標		—	

① 「河川管理施設の巡視」の実施状況

- 河川巡視は、「河川管理施設の保全状況」や「河川区域での違法行為」などについて把握するため、「福井県河川パトロール実施要領」に基づき、ブロック内の管理河川（43河川、総延長約318.1km）を対象に実施している。
- 巡視の実施頻度は、全河川において「年1回以上」実施しており、これに加えて重要水防区域や水防警報河川については「出水期前に1回、出水期間中に月1回以上」実施している。

河川管理施設の点検内容（福井県河川パトロール実施要領より）

項目	パトロール内容	措置
堤防の状況	亀裂、沈下、法崩れ、漏水箇所の有無	異常があれば、写真撮影・測量し報告する
護岸の状況	亀裂、洗掘、陥没箇所の有無	
根固の状況	流失、破損箇所の有無	
構造物（取水堰等）の状況	亀裂、漏水、流失、洗掘の有無	異常があれば、写真撮影・測量し報告する
河状、流水の変化	河床の異常洗掘、みお筋の変化 土砂の堆積の状態はどうか 草木等が異常に繁茂していないか	
親水施設の状況等	利用安全性 (施設の損傷、危険性の確認)	異常があれば、写真撮影・測量し報告する 危険がある場合、注意喚起する

河川環境の点検内容（福井県河川パトロール実施要領より）

項目	パトロール内容	措置
河川および排水の水質状況	特殊な汚濁色、油の流下、魚のへい死への対応 (油、へい死した魚の回収作業を含む)	発見した場合、写真撮影・報告する
ゴミ投棄	河川区域へのゴミ投棄、 放置車両がないか	発見した場合、写真撮影・回収する 違法投棄者がわかれば、撤去の要請をする
生態系の状況	利用安全性 (施設の損傷、危険性の確認)	異常があれば、写真撮影・測量し報告する 危険がある場合、注意喚起する

日野川（越前市家久）



平成29年4月撮影

② 「広野ダムおよび柘谷ダムの点検」の実施状況

- ・ 広野ダムおよび柘谷ダムにおいて、施設の機器について「月点検」と「年点検」を実施している。機器に異常が確認された場合は、修理を行うなど、良好な状態を維持している。

柘谷ダム 堤体計測状況（間隙水圧）



柘谷ダム 堤体計測状況（漏水量）



点検結果の考察

- ・ 引き続き河川管理施設において、適切な維持管理を行っていく。

河川整備計画 進捗点検	No.11	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P16	P44
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する維持管理 (2) 河道の維持管理	
	内容	① 堆積土砂の除去、樹木群の伐採 ② 橋梁や樋門等の新設・改築時の占有者への指導	
点検方法		実施状況の確認	
参考指標		—	

① 「堆積土砂の除去」「樹木群の伐採」の実施状況

- 河川内の堆積土砂については、河積阻害状況等を考慮し、除去している。
- 樹木群の伐採にあたっては、コスト縮減のため、住民に伐採木を無償提供している。

	H25	H26	H27	H28	H29
堆積土砂の除去量(m3)	13,300	6,300	15,200	7,000	9,170

	H25	H26	H27	H28	H29
樹木群の伐採量(t)	80	160	290	340	717
無償提供(t)	5	7	78	77	269

堆積土砂の除去（浅水川 越前市西尾町）



平成28年7月撮影



平成29年8月撮影

樹木群の伐採（日野川 越前市瓜生町）



平成28年9月撮影



平成29年4月撮影

② 「橋梁や樋門等の新設・改築時の占有者への指導」の実施状況

- 河川工作物については、「河川管理施設等構造令」との適合性を審査するなど、河川管理に支障が生じないように指導を行っている。

（平成24年度～平成29年度の占用許可〔新規〕 橋梁17件、樋門8件、その他12件）

点検結果の考察

- 河川内には未だ堆積土砂や樹木があるため、引き続き計画的に土砂の除去や伐採を行っていく。

河川整備計画 進捗点検	No.12	整備計画本文との対応 (ページ)	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P16	P44
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する維持管理 (3) 防災機能の充実	
	内容	① 流域内の雨量や河川水位情報の提供 ② 浸水想定区域図・洪水ハザードマップの作成	
点検方法		実施状況の確認	
参考指標		—	

① 「流域内の雨量や河川水位情報の提供」の実施状況

- 日野川ブロックにおいては、雨量観測所を25箇所、水位観測所を34箇所および河川カメラを7箇所設置している。
 <福井県全体>
 雨量観測情報（福井県：82箇所、国土交通省：27箇所、気象庁：14箇所）
 水位観測情報（福井県：83箇所、国土交通省：20箇所）
 河川カメラ画像（福井県：23箇所、国土交通省：3箇所、市町：1箇所）
- 雨量や河川水位等の河川情報については、「河川・砂防総合情報システム」により、地域住民にインターネットで提供している。

河川・砂防総合情報システム (<http://ame.pref.fukui.jp/>)

② 「浸水想定区域図・洪水ハザードマップの作成」の実施状況

《浸水想定区域図・洪水ハザードマップの作成》

- ・ 水位周知河川に指定されている江端川、天王川、浅水川、鞍谷川、吉野瀬川について、浸水想定区域図を作成し、インターネットで公表している。
- ・ 関係市町の洪水ハザードマップが公表されている。
- ・ 平成27年の水防法改正に伴い、現在、浸水想定区域については、「想定し得る最大規模（1/1,000年程度）の洪水に係る区域」へ、見直しを図っている。

洪水ハザードマップの公表状況

作成市町	公表年月	対象河川		
福井市	平成22年4月	九頭竜川 荒川	日野川 江端川	足羽川
鯖江市	平成24年4月	日野川 吉野瀬川	浅水川	鞍谷川
越前市	平成19年3月	日野川 吉野瀬川	浅水川	鞍谷川
南越前町	平成19年8月	日野川		
越前町	平成21年3月	日野川	天王川	

《福井県管理河川減災対策協議会の設立（H29.6）》

- ・ 国、県、市町が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進することにより、河川管理施設では守り切れない大洪水は必ず発生するとの考えに立ち、「水防災意識社会」を再構築することを目的に、「福井県管理河川減災対策協議会」を設立した。（嶺北ブロックと嶺南ブロック）

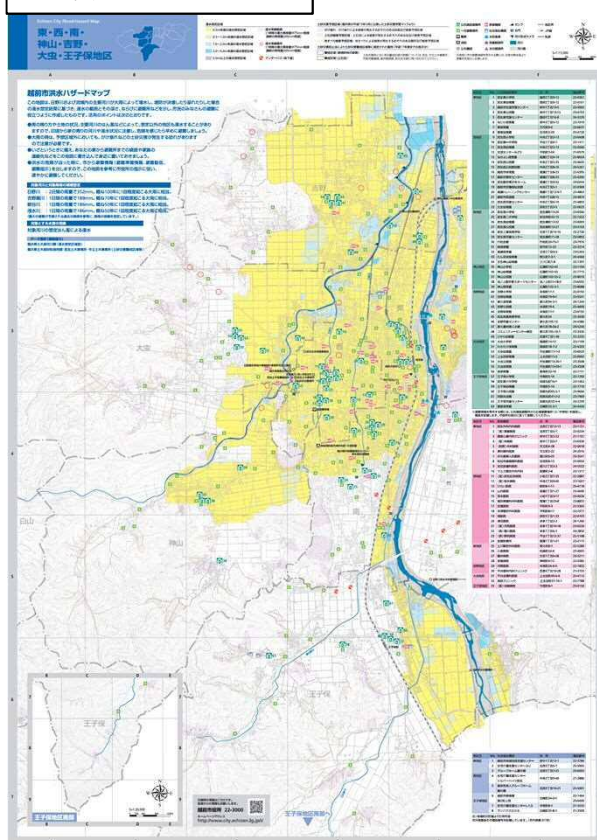
■減災のための目標

嶺北ブロックの県管理河川で発生し得る大規模水害に対し、「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指し、

- （1）円滑かつ迅速な非難
- （2）的確な水防活動の実施
- （3）一刻も早い復旧

の実施を目標とする。

越前市洪水ハザードマップ



福井県管理河川減災対策協議会開催状況



点検結果の考察

- ・ 引き続き、浸水想定区域図等により水害リスクに関する情報の提供をしていく。
- ・ 福井県管理河川減災対策協議会により、水害リスク情報等を共有していく。

河川整備計画 進捗点検	No.13	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P16	P45
記載事項	項目	5.2.2.2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する維持管理 (1) 水量の管理 (2) 許可工作物の設置等への対応	
	内容	① 日常的な水量の把握 ② 慣行水利権の許可水利権への移行 ③ 濁水対応 ④ 占用工作物の監督	
点検方法		実施状況の確認および指導状況	
参考指標		—	

① 「日常的な水量の把握」の実施状況

- ・ 次の水位観測所で水位を常時観測している。

水位観測所		水位観測所	
河川名	観測所	河川名	観測所
日野川	江端川水門（日野川水位）、狐川水門（日野川水位）、	浅水川	出作、黒津川（浅水川水位）、鳥羽、北
	三尾野（国）、久喜津（国）、深谷（国）、	黒津川	黒津川水門（黒津川水位）
	糺橋、和田川水門（日野川水位）、中平吹、	鞍谷川	松成、粟田部
	家久（鯖江）、聖橋、今庄、二ツ屋、岩谷	河和田川	北中
狐川	狐川水門（狐川水位）、若杉	服部川	東庄境
江端川	江端川水門（江端川水位）、江端	天王川	宝泉寺、江波
朝六ツ川	安保	和田川	近田橋（氣比庄）
和田川	和田川水門（和田川水位）	吉野瀬川	上太田、家久（吉野瀬川）
石田川	和田川水門（石田川水位）		

② 「慣行水利権の許可水利権への移行」の実施状況

- ・ 近年（平成23年以降）において、慣行水利権から許可水利権に変更した事例はない。

③ 「濁水対応」の実施状況

- ・ 平成25年6月に少雨による濁水被害が懸念されたため、「福井県濁水対策連絡協議会」を設置し、農林水産部等に節水を要請した。

福井県濁水対策連絡協議会議 濁水対策メンバー

土木部	技幹
	道路建設課長
	砂防防災課長
	都市計画課長
	河川課長
安全環境部	危機対策・防災課長
健康福祉部	医療薬品・衛生課長
産業労働部	公営企業経営課長
農林水産部	水田農業経営課長
	園芸畜産課長
	水産課帳
	県産材活用課長
	農村振興課長

福井新聞（H25.6.15）



④ 「占用工作物の監督」の指導状況

- ・ 平成24年度から平成29年度にかけて、構造物の劣化が著しく、河川管理上の支障が生じる恐れがあると判断される工作物が3件あったため、施設管理者に対して施設の改善を指導した。

点検結果の考察

- ・ 引き続き河川が適正に利用されるよう、管理に努めていく。

河川整備計画 進捗点検	No.14	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P16	P45
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (1) 水質の監視	
	内容	① 水質に対する住民意識向上のための啓発活動・広報活動 ② 水質事故等の発生時の対応 ③ 水質監視	
点検方法		実施状況の確認	
参考指標		—	

① 「水質に対する住民意識向上のための啓発活動・広報活動」の実施状況

- 水質に対する住民の意識を高めるために、1年に1回（12月頃）油流出防止について、新聞等に掲載し県民に注意を呼びかけている。

福井県からのお知らせ（H29.12.1 福井新聞掲載）

- 気を付けよう！
油の流出を防ごう！～冬は暖房器具への給油が増える時期です～
- 給油中にその場を離れない
 - 側溝や河川などに廃油を捨てない

広報FUKUI（H29.12.10）

**河川への油流出を
防ぎましょう**

近年、河川への油の流出事故が多発しています。油は河川の水質や水生生物のほか、河川の水を利用しての上水道や農業などへ影響を及ぼす恐れがあります。事故を防ぐため、次のことに注意しましょう。

- 燃料機器への給油中は、その場を離れない
- 雪の重みにより給油管が破損する恐れがあるので、ボイラーやストーブ、農業機械などの貯油タンクや配管などを定期的に点検・整備する
- 万が一、油が漏れた時は、布などで拭き取り、水路などへの流出を防ぐ

② 「水質事故等の発生時の対応」の実施状況

- 油流出は生じているが、「魚へい死」は確認されていない。事故発生の際は、現地調査を実施し、原因者に被害拡大防止措置を指示している。

水質事故件数（平成25年度～平成29年度）（単位：件）

	H25	H26	H27	H28	H29
事故件数	3	2	2	1	2
油	3	2	2	1	2
魚へい死	0	0	0	0	0

③ 「水質監視」の実施状況

- 次の河川の箇所において、環境基準値（BOD75%値）が定められている。
- 観測値は、環境基準値の範囲内である。ただし、H25年度における浅水川（曲木橋）および鞍谷川（小富士橋）を除く。

水質測定地点と測定結果（平成24年度～平成28年度）（単位：mg/リットル）

	BOD 75%値	H24	H25	H26	H27	H28
日野川 豊橋	2 (A類型)	1.0	0.8	0.5	0.5未満	0.5
日野川 清水山橋	3 (B類型)	1.4	1.7	1.2	1.4	1.2
天王川 末端	2 (A類型)	1.4	1.4	0.9	0.6	1.0
吉野瀬川 芝原井橋	2 (A類型)	1.0	0.7	0.8	0.7	0.8
吉野瀬川 高見橋	5 (C類型)	1.6	2.9	2.0	1.4	1.7
浅水川 曲木橋	3 (B類型)	1.6	3.2	1.8	1.2	2.4
浅水川 天神橋	5 (C類型)	2.3	2.9	2.8	1.7	3.3
狐川 狐橋	5 (C類型)	3.2	3.1	2.9	2.9	2.1
鞍谷川 小富士橋	8 (D類型)	6.1	8.9	7.4	4.5	5.0
鞍谷川 浮橋	5 (C類型)	2.3	3.4	2.1	2.1	2.6
穴田川 榎木橋	3 (B類型)	2.2	2.2	2.2	2.2	2.1

点検結果の考察

- 引き続き適切な水質監視を行っていく。

河川整備計画 進捗点検	No.15	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P16	P44
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (2) 河川環境の保全	
	内容	① 魚道の設置・改築 ＜天王川（上流部）での魚道整備事例＞	
点検方法		実施状況の確認	
参考指標		－	

① 「魚道の設置・改築」の実施状況 ＜天王川（上流部）での魚道整備事例＞

【整備背景】

- ・ 「越前市コウノトリが舞う里づくり戦略（H24.12）」における3つの方針のうち「里地里山の保全再生」を図るため生態系に配慮した水辺環境の整備を進めている。
- ・ 水田に餌の少ない冬場は、河川がコウノトリの重要な餌場となる。
- ・ 堰や落差工など河川の大きな段差により、魚類の縦断連続性の確保に支障となっているため、落差工に魚道を整備し、下流から上流域へ魚類が遡上できるよう生物多様性の拡大を目指した。

【整備概要】

- ・ 天王川の落差工等は、越前市に17箇所（うち県管理は6箇所）ある。
- ・ 県管理の落差工について、平成25年度より整備を開始した（5箇所整備完了）。



【整備方針】

- ＜対象魚種＞ 甲殻類、両生類等も含めた水生生物全般を対象とする（特定魚種に絞らない）。
- ＜構造形式＞ 魚類、甲殻類、両生類が河川内を行き来できるように、自然石の小プールをウロコ状に配置する方法を採用する。
- ＜設計勾配＞ 水生生物全般の移動を考慮し、1/5以下とする。
- ＜設計水深＞ 流速を減勢させるため、20～30cm確保する。
- ＜整備方法＞ 整備後に課題を抽出し、次の設計にフィードバックする順応的整備^{※1}を行う。

※1 順応的整備とは、「当初の計画では想定しなかった事態に陥ることが想定されることから、あらかじめ目標を設定し、計画がその目標を達成しているかをモニタリングにより検証しながら、その結果に合わせて柔軟に対応していく整備」とする。

① 「魚道の設置・改築」の実施状況 <天王川（上流部）での魚道整備事例>

■ 全面に小プールをうろこ状に配置する方法を採用

1号魚道（工事着手前）



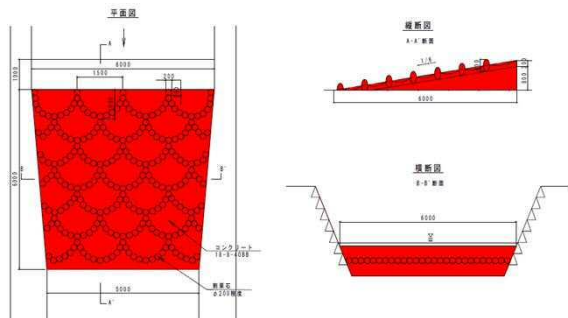
平成24年7月撮影

1号魚道（工事完了後）



平成26年12月撮影

落差：H=0.8m、勾配：1/6、水深：約0.2m、プール寸法：約1.0m×約1.0m



<評価>

- ・ プールを構成する植石が小さい⇒ 根入れが浅いため、植石が流出した。
- ・ プールの幅が小さく、水深が浅いので、土砂が堆積しやすく、全体にヨシが繁茂した。

■ 川幅の2/3を木製カゴ枠（県産材）にする方法を採用

2号魚道（工事着手前）



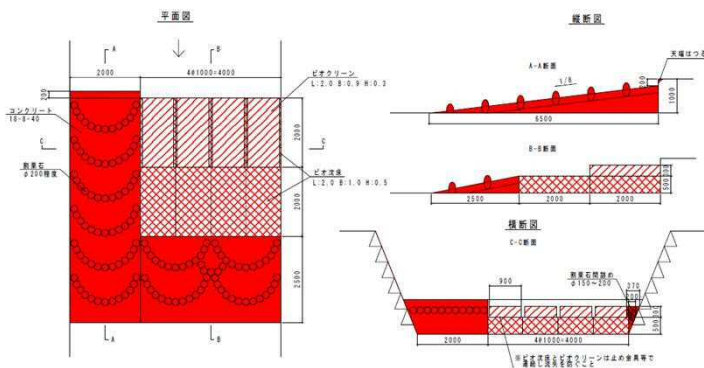
平成24年7月撮影

2号魚道（工事完了後）



平成26年8月撮影

落差：H=0.8m、勾配：1/8、水深：約0.2m、プール寸法：約2.0m×約0.7m



<評価>

- ・ 木製カゴ枠部の水深が浅く、流れも速い
- ・ プールのサイズが小さく、泡立ちが多い

① 「魚道の設置・改築」の実施状況 <天王川（上流部）での魚道整備事例>

■ うろこ状を形成する植石をφ200からφ400に変更

3号魚道（工事着手前）



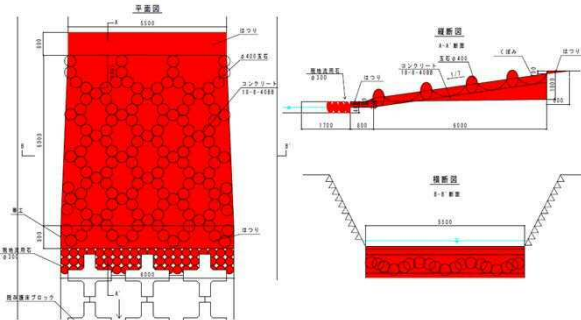
平成26年5月撮影

3号魚道（工事完了後）



平成27年8月撮影

落差：H=1.0m, 勾配：1/6, 水深：約0.2m, プール寸法：約1.0m×約1.0m



<評価>

- ・ プールを構成する石を大きくし、根入れとプールの水深を確保をした。
⇒ 植石の流出と土砂の堆積を抑制できた。
- ・ プールのサイズが小さく、泡立ちが多い。

■ プールを大きくし、植石も流心に向けて配置することで、流量が少ない時もお筋を確保できる方法を採用

4号魚道（工事着手前）



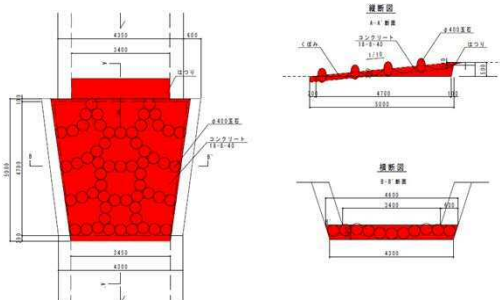
平成28年1月撮影

4号魚道（工事完了後）



平成28年4月撮影

落差：H=0.5m, 勾配：1/10, 水深：約0.3m, プール寸法：約1.5m×約1.5m



<評価>

- ・ 水深が確保され、泡立ちを抑えることに成功した。
- ・ 適度に土砂が堆積し、流心部が太いみお筋が形成された。⇒ 今後この形状をモデルとしていく。

① 「魚道の設置・改築」の実施状況 <天王川（上流部）での魚道整備事例>

【魚類調査（H28.10）】

- ・ 土木事務所の職員において、専門家の協力を得ながら、魚類調査を平成28年10月に実施した。
- ・ 魚道の上下流において、同種の魚類が確認できたことから、縦断連続性が確保できている。
- ・ プールサイズが小さく、泡立ちが発生していた1～3号魚道とプールサイズを大きくし、泡立ちを抑制した4号魚道を比較すると、魚類の遡上に大きな差異は見当たらなかった。

魚類調査実施状況



平成28年10月撮影

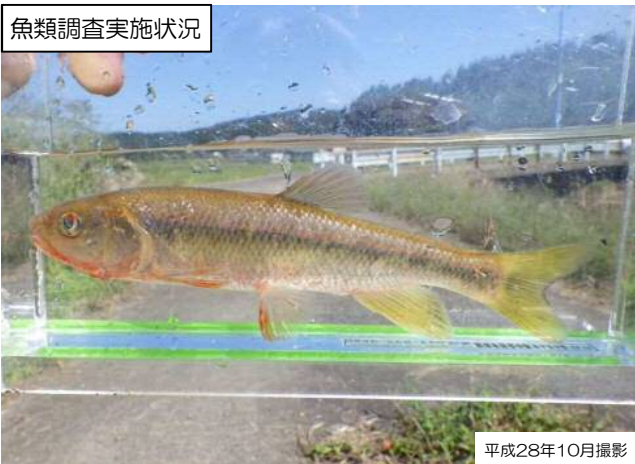
魚類調査実施状況



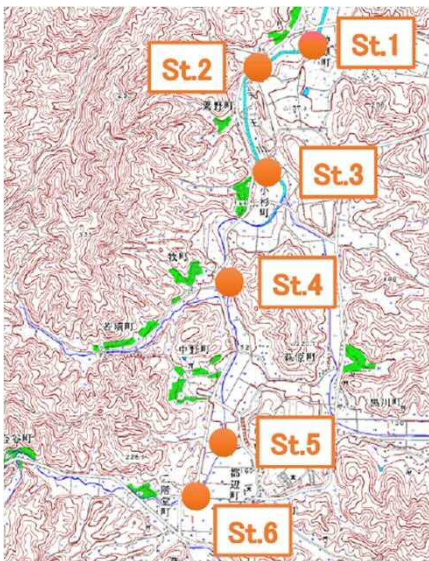
平成28年10月撮影

魚類調査結果

魚類調査実施状況



平成28年10月撮影



科目	ヤツメウナギ		コイ						ドジョウ	ナマズ	カシカ	サンフィッシュ	ハゼ	
	スナヤツメ	ギンブナ	オイカワ	カワムツ	ヌマムツ	カワムツ類	アブラハヤ	ウグイ	カマツカ	ドジョウ	ナマズ	カシカ大卵型	ブルギル	オオクチバス
H2 1～ H2 4魚 類調 査	St.1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●
	St.2		●	●	●			●	●	●	●			●
	St.3		●	●	●	●		●	●	●		●	●	●
	St.4	●	●	●	●	●		●	●			●	●	●
	St.5		●	●	●	●		●	●			●	●	●
	St.6							●		●		●	●	●
1号	下流		●	●	●		●		●					●
	魚道 上流		●			●	●							●
2号	下流		●			●	●		●					●
	魚道 上流					●	●		●			●		●
3号	下流			●		●	●							●
	魚道 上流			●		●	●		●			●		
4号	下流	●					●		●		●	●		
	魚道 上流						●				●			

点検結果の考察

- ・ 魚道の整備箇所において魚類調査を継続し、魚類の生息状況についてデータを蓄積していく。
- ・ St.6周辺の魚道整備を行った結果、St.5で確認された魚種がSt.6においても確認された。

河川整備計画 進捗点検		No.16	整備計画本文との対応（ページ）	
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
			P16	P46
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (3) 河川空間の適切な利用		
	内容	① オープンスペースとしての高水敷の利用状況や自然豊かな河川とのふれあい・体験学習の場としての利用等 ② 河川内の不法投棄を防ぐための対策		
点検方法		利用状況、実施状況の確認		
参考指標		—		

① 「オープンスペースとしての高水敷の利用状況や自然豊かな河川とのふれあい・体験学習の場としての利用等」状況

・『そうだ！川へ行こう！』

河川協力団体にも指定（H28.1.4）された「日野川流域交流会」のプロジェクトの一つである「日野川に砂礫河原をとりもどす会」が平成21年7月から毎年開催しているイベントである。川や砂れき河原の生き物を観察し、川遊びを体験することで、日野川の魅力を発見し、川への関心を高める活動をおこなっている。

平成29年7月に開催された『第9回そうだ！川へ行こう！』では、「アユの手づかみ漁！」「そうだ！川で泳ごう！」「Eボートで川探検！」など様々なイベントが開催された。



② 「河川内の不法投棄を防ぐための対策」の実施状況

- ・平成24年度から平成29年度にかけて、ゴミの不法投棄を防ぐため、河川巡視の他ゴミ投棄防止に関する看板を5枚設置した。

点検結果の考察

- ・河川敷がイベント等で活用されている。
- ・引き続き不法投棄を減らすための対応を講じていく。

河川整備計画 進捗点検	No.17	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P16	P47
記載事項	項目	5.3.1 地域住民との協働	
	内容	① 住民参加による河川美化活動	
点検方法		実施状況の確認	
参考指標		—	

① 「住民参加による河川美化活動」の実施状況

- 毎年、住民や企業・団体等が、河川の草刈りや清掃活動に参加している。

（単位：人）

	H25	H26	H27	H28	H29
草刈り	32,500	28,800	27,500	29,300	29,700
清掃活動	11,200	8,700	10,100	9,600	10,000
合計	43,700	37,500	37,600	38,900	39,700



点検結果の考察

- 引き続き地域住民との協働による河川美化活動が定着するよう努めていく。